

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービスcorekids				公表日	令和8年 2月 13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		10人定員に対して十分なスペースは確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		今年から児童指導員も増員予定で現在も適切に配置しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	バリアフリー化は設備として難しいですが、段差をなくし、床が滑らないようになど工夫しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		一階を運動空間、二階は学習室や静かに遊べる空間として分けており、活動内容に応じて使い方を分けています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウンできる部屋も設けてあり、仕切りを利用して遊べるように工夫しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		毎日朝のミーティングで前日の振り返りや目標設定などを話し合い、参加できない職員にも共有しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		前年の評価表課題を業務改善の指針にして会議の中で決定し実行しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		毎日、朝のミーティングで意見交換をし、日々の業務改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3		第三者による外部評価を行っていなかった為、今後、システムを作り、評価結果を業務改善につなげていきたいと思っています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部研修や社内研修などに積極的に参加し、資質を向上するように努めています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページに掲載して公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		定期的なモニタリングやアセスメント・保護者の方からの相談、日々の様子などを通して個々に応じて必要な支援を分析し、個別支援計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		子どもに関わるスタッフと一緒に検討を重ね、意見を出し合いながらより適切な支援になるように作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		個別支援計画をミーティングなどで共有し計画に沿いながら支援を行うようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		定期的なアセスメントをしたり、送迎時等でアセスメントを実施しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		個別支援計画を作成時にこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		定期的に職員でミーティングを行い、みんなで意見を出し合い立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		定期的にミーティングを行い、子どもたちの興味や新しく挑戦させたいことなど検討しながら、随時変更し取り入れるようにしています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		それぞれのこどもの特性や興味に合わせながら個別と集団の活動を組み合わせ支援計画を作成し、支援しています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日朝にミーティングで打ち合わせし、各自の役割や支援内容・配慮事項などを確認しています。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後の翌日に職員間で前日の振り返りをし、共有している。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		毎日デイサービス日誌を作成し、改善点などを話しあい、日々の支援につなげています。		

関係機関や保護者との連携	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		年に2回定期的に対面でのモニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4		放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		スタッフが利用者へ今日の活動の提案をして自己選択できるような声掛け支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		事前に職員間で子どもの様子を共有したうえで、状況をよく理解し、把握している職員が参画するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	荘内病院やこころの医療センターに協力医院になってもらっている。協力機関を通じて情報共有をすることができた。	情報共有する機会が少ない為今後増やしていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校送迎時や必要があれば電話や担当者会議を開催して情報交換して共有している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		相談支援員さんから紹介してもらい事前に見学して情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			現状まだ開設してからまだ卒業生がいない為対象の児童がいない状況です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		現状児童発達支援センターとの連携する機会がないので今後機会を設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	3		ソライなどの施設を利用した中で地域の放課後児童クラブとの交流はできた。地域の他の子どもと活動する機会が少ないので今後機会を増やしていきたい。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	定期的な会議等に参加している。		
34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		帰りの送迎時や公式LINE、連絡帳アプリなどを通じて子どもの状況を伝えあうようにしています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			家族等の参加できる研修の機会や情報提供等する機会を今後検討していきたい。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		利用契約時に丁寧に説明するように心がけています。支援プログラムはホームページに掲載し、周知できるようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		公式LINE等で気軽に意見交換や情報の提供をできるようにしたり、アンケート等で子どもや家族の意向を確認したりしています。利用者様の最善の利益を優先し、今後ともサービス提供を行っていきたく思います。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		定期的なモニタリング等で説明し、保護者の方からの同意を得、サインと押印をいただいています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		悩みごとや相談などがある場合はその都度適切に応じるように心がけています。場合に応じ、個別に面談等で相談する機会も設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者会等は開催できていないが親子イベントを開催し、きょうだいの参加や保護者同士で交流する機会を作っています。今後保護者会等も検討していきたいと思います。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情については随時、早急に対応し、保護者の方への説明や改善に努めています。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		公式LINEやHP等で日々の活動や行事予定、概要などを発信してきました。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の取り扱いには十分に留意し、外部への流出、紛失のないようにしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		子どもや保護者の方と日頃からコミュニケーションを心がけ、信頼関係を築けるように心掛けていきたいと思います。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		現状できていない為今後検討していきたい。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		定期的なモニタリング等で情報を共有している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練等は定期的実施している。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時に持病や服薬状況などを確認し、個々の健康状態を把握するようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時にアレルギーの有無をしっかりと確認し、十分気を付け対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画作成を作成し、定期的に、安全点検や訓練なども行っている。安全に支援が行えるように引き続き管理していきたい。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		家族等にもう少し詳しく周知をしていきたいと思っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		委員会を設置し適切に対応している。	